

東日本大震災14年・能登半島地震から学ぶもの

～東南海トラフ地震に語り継ぐ～

「2025 建築とまちづくりセミナーin 仙台/～東南海トラフ地震に語り継ぐ～」をテーマに開催します。

1 日目は、東日本大震災で何が起きたか、14 年間を経て現場はどうなっているのか、という点の理解を深めたい。能登半島被災地に東日本大震災の知見が生かされているのか？その警鐘と全国へのメッセージともなります。今でも、困難な状況での復興にあること、被災者がどう立ち上がっているか、その再建・復興途上を専門家や市民は何を行うべきか、その展望を見出したいと考えます。

2 日目は、現地見学。沖積低地である仙台平野沿岸部の集落、東松島市の防災集団移転促進事業によるあおい団地、石巻市の震災遺構となった門脇小学校など、津波後の復興事業によって様々な災後を歩んできた現場に身を置いて考えたい。南海トラフが懸念される今、極めて重要な現状認識になると思われます。

■日時 2025 年 10 月 25 日（土）～26 日（日）

■会場 東北大学青葉山キャンパス 工学部 人間環境棟 101 教室

（仙台市青葉区 JR 仙台駅～地下鉄東西線仙台駅～15 分～青葉山駅 300m 徒歩 7 分）



仙台平野津波被災地/三本塚の皆様と活動する田澤ゼミ



東松島市防災集団移転促進事業のあおい団地



石巻市の震災遺構となった門脇小学校

1 日目（10 月 25 日）

【講座と交流会】

●講座 13:20 ～ 17:00

コーディネーター 窪田 亜矢氏（東北大学大学院教授）

第 1 講座

東日本大震災復興から何を学ぶか

みやぎ震災研究センター 遠州 尋美 氏

第 2 講座

被災後の地域活動を支える地域コミュニティの経験知

ー 仙台市沿岸部の現地再建エリアの事例 ー

東北芸術工科大学 田澤 紘子 氏

～～～ 休 憩 ～～～

第 3 講座

被災地からの集団移転による新しいまちづくりはー

都市住宅とまちづくり研究会 杉山 昇 氏

第 4 講座

空き家の活用による持続可能な復興

巻 組 渡邊 亨子 氏

●交流会(各地で取り組む人達との交流)17:30～19:30

(みやぎ復興支援県民センター、能登地震支援会議等)

< 青葉山工学部生協食堂 DOCK/セミナー会場隣歩 3 分 >

< 駐車場: 21 時まで生協奥の警備室の指示で駐車できます >

2 日目（10 月 26 日）

【現地視察】(8:30～17:30)

仙台井土荒浜～東松島あおい団地～石巻門脇など

3 日目（10 月 27 日）

オプション企画【リアス海岸視察】

南三陸、石巻十三浜を回って石巻駅で解散

◆セミナー内容◆

◆第1日目 10月25日(土)

フシ企画 11:30 東北大学「エコラボ」見学会

見学会参加の方は人間環境棟 1 階ピロティ集合

●受 付 (12:30 ~) 会場:青葉山キャンパス人間環境棟 101 教室

●主催者挨拶 (13:20 ~ 13:30)

●第 1 講座 (13:30 ~ 14:00)

講 座 名:『東日本大震災復興から何を学ぶのか』

内 容: 東日本大震災復興の現場では、惨事便乗型巨大土木事業の隠れ蓑となった創造的復興と、被災者の生活再建に心を砕く、人間の復興とがせめぎ合った。前者を可能としたのは、過半を復興増税で賄う総額 32 兆円超の国丸抱え復興財源システムだった。

しかし能登地震被災地のネグレクトが示すように、南海トラフ巨大地震等不可避的巨大災害でその再現性は望めない。ならば私たちは何を継承するのか。ともに考えたい。

講 師: 遠州 尋美 みやぎ震災復興研究センター事務所長(元大阪経済大学教授)

えんしゅう ひろみ

●第 2 講座 (14:00~14:50)

講 座 名:『被災後の地域活動を支える地域コミュニティの経験知今後の課題』

内 容: 災害危険区域予定だったけれども指定されなかった井土集落において、今もマルシェや清掃など住まなくなった住民も参加し続けている意味、井戸まちづくり情報局の取組を報告する。

また、移転した方も含めて三本塚の地域再生に取り組みなどを報告する。

講 師: 田澤 紘子 東北芸術工科大学デザイン工学部 企画構想学科

たざわ ひろこ

(休 憩 10 分)

●第 3 講座 (15:00~15:40)

講 座 名:『被災地からの集団移転による新しいまちづくりは一』

内 容: 東松島市は沿岸部の各地区で大きな被害を受け、災害危険区域に指定された。海岸から遠い地域や山の上などに集団移転をすることになり、としまち研はその移転先のひとつである東矢本駅北地区(後に「あおい 1 ~ 3 丁目」)での新しいまちづくりのお手伝いをしました。いわば「コーポラティブ方式による日本一住みやすいまちづくり」を被災者=住む人主体で行って来ました。東松島市大曲地区の被災者が防災集団移転促進事業であおい地区の団地にどのような議論、住民参加と合意を工夫しながら移転した団地の今を報告する。

講 師: 杉山 昇 都市住宅とまちづくり研究会

すぎやま のぼる

●第 4 講座 (15:40~16:20)

講 座 名:『空き家の活用による持続可能な復興』

内 容: 被災地の空き家改修で支援者への賃貸活用、「巻組」を運営、被災地石巻市で絶望的条件の空き家を活用し、地域でアート思考人材を育てる事業スキーム、クリエイティブな人材が育つ環境を模索の経験を報告する。

講 師: 渡邊 亨子 株式会社 巻組代表取締役(石巻市)

わたなべ りょうこ

●意見交換 (16:20~17:00)

司 会: 窪田 亜矢 東北大学大学院工学研究科教授(都市デザイン研究室 工学博士)

●交流会 17:30~19:30 会場:東北大学青葉山工学部生協 DOCK

各地で、また能登半島地震で復興に取り組む人達と交流します。セミナー会場 隣接生協食堂

終了後: 地下鉄「青葉山駅」~「仙台駅」(10間隔)をご利用下さい。

タクシー 生協出口に乗り場(仙台駅まで約 3,000 円)予約は TEL.0570-06-1000(共同無線)

◆第2日目 10月26日(日)

■被災地視察 集合 8:30~17:30 仙台駅東口解散
大型バス(50人限定)とマイカー(追尾)で下記行程

8:30 仙台花京院緑地(アエル前より北歩5分)集合

9:00 仙台市若林区井土地区/三本塚地区

↓ 関係者の皆さんの話を聞きます

10:30 若林区荒浜小学校震災遺構/荒浜住宅跡地

↓

11:30 三陸道港北IC~東松島矢本IC

↓ ※三陸道春日SAにて各自昼食購入

13:00 三陸道矢本IC~東松島市あおい団地

↓ あおい住宅町内会の方のお話を聞く

14:30 石巻市門脇小学校/震災遺構祈念公園

石巻市子どもセンター「らいつ」

↓ 翌日オプション参加者は石巻ICで下車

15:30 三陸道石巻IC(休憩 東松島SA15分)

↓ 三陸道仙台東IC~市街地一般道~

17:30 仙台駅東口(終点、解散)、駅改札まで15分

◆第3日目 10月27日

■オプションツアー(佐々木さんに直接申し込み)

三陸リアス式海岸被災地の復興状況を視察します

佐々木さんの案内、追分温泉宿泊(マイカー利用)

大川小学校震災遺構視察 9:30 ~10:30

↓

石巻十三浜 11:00~12:00(浜で昼食)

↓ 浜の復興に係わった方々との交流

ササキ設計事務所(会員)13:00~ → JR 石巻駅 15:00 着(JR 石巻発快速 15:48⇒仙台駅 16:54 着)

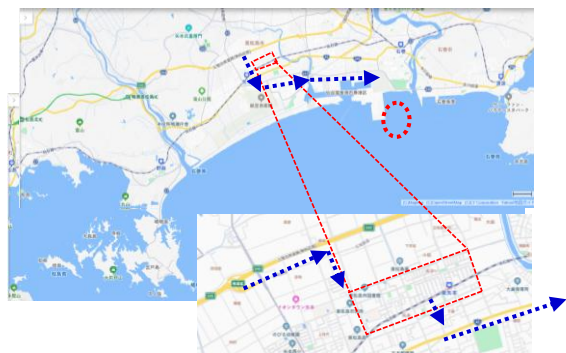
仙台駅からは、17時台は、22分、25分、32分、43分、54分「はやて」、「やまびこ」に乗車可能

仙台航空アクセス線で最終便に ☆福岡行き 18:45 ☆札幌行き 19:40 ☆関西行き 20:00

① 仙台駅~井土三本塚~荒浜小学校



② 東松島あおい地区~石巻門脇震災祈念公園



●会場案内

東北大学工学部人間環境棟 101 教室

◆地下鉄東西線ご利用の場合 9分

JR 仙台駅~地下鉄東西線青葉山駅

「北口1出口」より 300m 約 7分

◆タクシーご利用の場合

JR 仙台駅より 20分 約 3,000円

◆市営バスご利用：ルーブルバス

JR 仙台駅 16 番乗車、青葉山駅下車

集合場所(青葉山駅)



①セミナー会場は、青葉山駅より 300m 先のバス停「工学部西」正面の「人岸環境棟」真向い。

②交流会会場は、工学部棟隣の生協食堂 DOCK 駐車は建物裏に警備室の指示に従ってください

ホテル白萩(朝食, 無料駐車場)
022-265-3412 駅徒歩 15分
仙台市青葉区錦町 2-2-19

駅より歩 15分

バス集合 花京院緑地

1. 参加費 講座は1講座でもご参加できます 学生の方は講座の参加は無料です。

10月25日(土) 12:30～ 講座 東北大学青葉山キャンパス 工学部人間環境棟101教室					
①	フル参加(25-26)	15,000円	パンフレット込み		
②	講座 全講座(1-4)	4,000円	パンフレット込み	学生無料	
	第1講座 講師 遠州氏	1,000円	パンフレット(資料集)をご希望の方は別途1,000円		※各講座の受講料は講座別に個別申込する場合です。全講座参加申し込みをお勧めします。
	第2講座 講師 田澤氏	1,000円			
	第3講座 講師 杉山氏	1,000円			
	第4講座 講師 渡邊氏	1,000円			
③	交流会 17:30～ 東北大学青葉山キャンパス工学部 生協食堂 DOCK				
	交流会:生協DOCK	6,000円			
10月26日(日)8:30～17:30被災地視察(バス:各自昼食持参)					
④	視察代	5,000円			昼食持参下さい
⑤	パンフレット	1,000円			

- ※1 1講座毎に申込参加できますが、参加費は1講座1,000円となります。パンフレットは別
 ※2 交流会終了後は地下鉄青葉山駅で仙台駅か、生協前タクシー乗り場から利用できます。予約も可能。
 ※3 宿泊先は各自ご予約下さい。翌日の集合場所に近い宿は上表です。参考にしてください。
 ※4 26日の被災地視察で貸切 集合は8時30分に「花京院緑地」です。
 ※5 26日昼食は各自ご用意下さい
 (高速道で2か所15分駐車)、石巻ICで下車の方は事前に申し出ください、下車をご案内します。
 ※6 27日のオプションツアーは限定10人。直接、宮城支部の佐々木文彦さんにお申込み下さい。
 申込先 e-mail: sasaki@sasakisekkei.co.jp TEL 022-268-6578 FAX 022-268-7164
 参加費 26日視察後の石巻ICにてバス乗換、移動。宿泊(追分温泉込約15,000円)

2. お申込み締切・振込先期限 9月30日(火) までお振込みください

三井住友銀行 飯田橋支店 普通預金 口座番号 6891729 口座名 新建築家技術者集団

3. 申し込みと注意事項

申込みフォーム <https://nu-ae.com/251025-26sendai-form/>

- ① 申込は申込みフォームよりおこなってください。
- ② 26日の現地視察は定員50名になり次第、締め切ります。お早めにお申し込み下さい。
- ③ キャンセル料 交流会(6,000円)・視察バス代(5,000円)
 30日前(9/25)20% 30日～21日前:50% 20日前～当日:100%



4. お問い合わせ・変更・キャンセルなどの専用メール

専用メール madoguchi@nu-ae.com 新建事務局

TEL: 03-3260-9800または03-3260-9810 FAX: 03-3260-9811

ホームページ <https://nu-ae.com/>



5. 主 催 新建築家技術者集団

代表幹事: 乾康代(元茨木大学教授) 片方信也(日本福祉大学名誉教授)
 中島明子(和洋女子大学教授) 藤本昌也(日本建築士会名誉会長)
 垂水英司(兵庫県建築士会顧問) 山本厚生(建築家)
 浜崎裕子(久留米大学地域連携センター顧問)

全国幹事会議長: 片井克美 事務局長: 大槻博司

2025年セミナー実行委員長: 西條 芳郎(宮城支部代表幹事/東北工業大学講師)

●会場・視察バス乗り場のご案内●

●会場

東北大学青葉山キャンパス
人間環境棟 101 教室

〒980-8579 宮城県仙台市青葉区荒巻青葉6-6-06
都市デザイン研究室(窪田)TEL:022-795-7888
ホームページ <http://www.touhoko.uni.jp/>



◆地下鉄東西線ご利用9分
(10分間隔 250円)
東西線青葉山駅下車
「北口1」より徒歩7分

◆タクシーご利用 20分
JR仙台駅西口より
約3,000円
共同無線タクシー
0570-06-1000

◆ループバスご利用
30分(20分間隔 260円)
JR仙台駅西口バスプール
ループバス 16番乗場
「青葉山駅」下車徒歩7分

●視察バス集合場所「花京院緑地公園」 仙台市青葉区花京院1-195-10

◆10月25日の宿泊は各自でご予約ください。集合場所に近いホテルを掲載しています。
新建として割引はありませんので、他のホテルでもかまいません。

26日 被災地視察のバス乗車場所に近いホテル

◎東横イン西口広瀬通

住所: 〒980-0014
宮城県仙台市青葉区本町1丁目4-45
TEL:022-721-1045 FAX:022-721-1046
交通アクセス:周辺の有料駐車場利用可
JR仙台駅西口アエル側出口0.5km徒歩4分

◎ホテル白萩

住所: 〒980-0012
宮城県仙台市青葉区錦町2丁目2-19
TEL:022-365-3411 FAX:022-265-3462
交通アクセス:無料駐車場利用可能
JR仙台駅西口アエル側出口1.0km徒歩15分

◎ホテルメイフラワー仙台

住所: 〒980-0014
宮城県仙台市青葉区本町1丁目13-28
TEL:022-262-5411 FAX:022-262-5415
交通アクセス:周辺の有料駐車場利用可
JR仙台駅西口アエル側出口0.9km徒歩14分

